

令和8年2月2日

報道機関 各位

伏木地区のミライを考える まちづくり懇談会を開催します —まちづくり構想案を発表し、住民と意見交換—

富山大学藪谷研究室・東京科学大学真野研究室は、能登半島地震により大きな液状化被害を受けた伏木地区を対象に、まちづくり懇談会を開催します。これまで懇談会で出された住民の意見をもとに、両研究室ではビジョンや方針を整理し、伏木のまちが目指す未来の姿を示した構想案の作成を行っています。今回の懇談会では、作成中の構想案を住民のみなさまに発表し、それに対するご意見を伺うとともに、来年度の活動に向けて話し合います。本懇談会での話し合いが、今後の震災復興に向け、伏木地区の住民が主体となって具体的な活動を行っていくきっかけの場になることを目的としています。

つきましては、本件について取材・報道方よりお取り計らい願います。

記

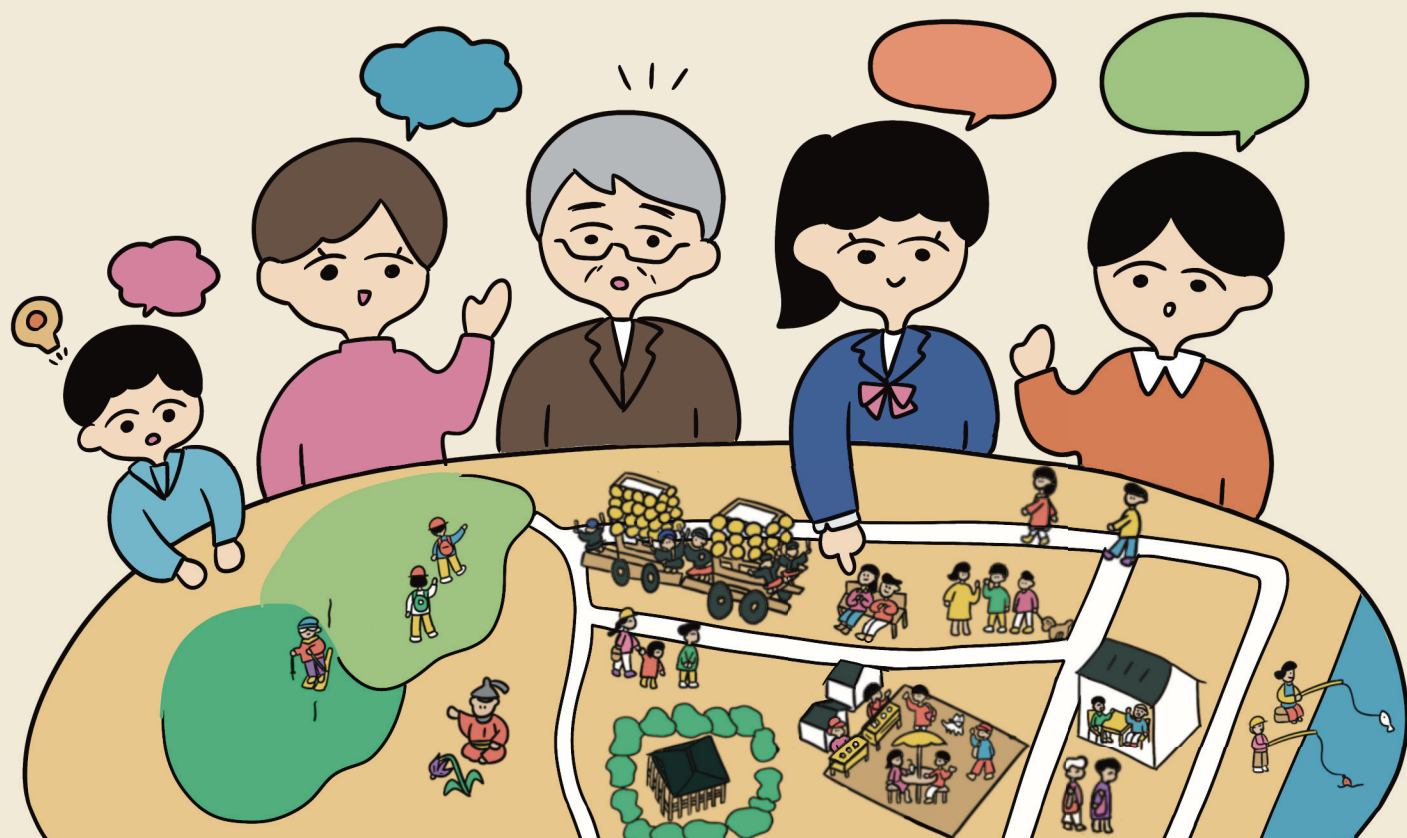
- 日時 2026年2月7日（土）18:00～20:00
- 場所 伏木コミュニティセンター 2階大会議室および研修室
- 申込 事前申込不要、参加費無料
- 主催 富山大学藪谷研究室、東京科学大学（旧東京工業大学）真野研究室
- 協力 伏木地区復興ロードマップ推進委員会、高岡市
- 内容 まちづくり構想案の共有・意見交換、取り組みに関する意見交換

※詳細は添付のチラシをご確認ください

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 学術研究部 芸術文化学系 講師 藪谷祐介
TEL : 0766-25-9200 Email : yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

伏木のまちの未来の姿、 考えんまいけ



2026 2.7 (±) 18:00～20:00

会場 伏木コミュニティセンター（高岡市伏木湊町 13-1）

申込
不要

参加
無料

懇談会の内容

まちづくり構想案
の共有・意見交換



伏木の目指す未来や
取り組む活動について、
意見交換



まちづくり構想案とは

伏木のより良い未来の実現に向けて、今後このまちで住民が主体となって取り組んでいくことや、未来の目指す姿をまとめたものです。第4回懇談会を踏まえ、2026年3月に完成予定です。



伏木まちづくり懇談会ニュース

第3回まちづくり懇談会

「伏木の復興に向けてしたいこと、考えんまいけ」を実施しました！



日時：2025年12月13日(土)19:00～21:00

場所：伏木コミュニティセンター

参加者：43名

当日は、一度に集まった人数としては過去最多となる43名の方にご参加いただきました。第2回懇談会で話し合った内容をもとに設定した6つのテーマごとにグループに分かれ、実現できそうな取り組みを話し合いました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

各テーマで挙げられた意見(一部抜粋)

テーマ① 交流の場



- ・地域の特性を活かした体験の場づくり
(ところてんの製作、地引網漁での魚パーティー)
- ・お散歩コースの設定と沿道へのベンチの設置

テーマ② 歴史・祭り



- ・時代にに合わせて形を変えてきた祭りや、なくなりゆく産業・伝統を何かしらの形で残す
→写真などの資料を回収するボックスの設置

テーマ③ 観光とまち



- ・クルーズ船観光客に向けて、伏木の住民がまちを案内するまち歩きの企画
→まずは何を載せるかの勉強会から始める

テーマ④ お店と暮らし



- ・お店やおすすめスポットを伝えるInstagramの開設
- ・若者が楽しめる場づくり
- ・被災した店舗や新しくお店を始めた人がお店をできる場

テーマ⑤ 情報発信・共有



- ・復興に向け頑張っている様子の発信
(手段：QRコード、ミニコミ誌、壁新聞、YouTube、InstagramなどSNS)
→情報を集める拠点が必要

テーマ⑥ 空き地の活用



- ・立山を望めるような空き地に植物を植え、杜の都をつくる
- ・能登半島地震の記憶を風化させない資料館をつくる
- ・マルシェの開催

これからの活動

懇談会をもとに、まちづくり構想案を作成し、復興に向けた取り組みに繋がっていきます。

今ここ！

懇談会
全4回実施

2026年3月

まちづくり
構想案

2026年4月以降

実行

LINEでも大学の活動を
発信しています

私たち大学の活動や伏木でのニュースの発信のほか、学生がチャットにてご意見・ご質問にお答えしています。

